



平成29年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年6月13日

上場会社名 株式会社ティビィシー・スキヤット 上場取引所 東
 コード番号 3974 URL <http://www.tbcsat.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安田 茂幸
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 古澤 誠一 (TEL) 03(5623)9670
 四半期報告書提出予定日 平成29年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年10月期第2四半期の連結業績(平成28年11月1日～平成29年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第2四半期	1,250	—	38	—	20	—	18	—
28年10月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年10月期第2四半期 18百万円(—%) 28年10月期第2四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第2四半期	13.43	—
28年10月期第2四半期	—	—

(注) 1. 平成28年10月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成28年10月期第2四半期の業績及び平成29年10月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年10月期第2四半期	3,188	1,867	58.6
28年10月期	3,022	1,649	54.6

(参考) 自己資本 29年10月期第2四半期 1,867百万円 28年10月期 1,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年10月期	—	0.00	—	—	—
29年10月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年10月期の連結業績予想(平成28年11月1日～平成29年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,567	△10.4	145	△33.4	125	△47.8	87	△38.8	61.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年10月期2Q	1,820,000株	28年10月期	1,820,000株
② 期末自己株式数	29年10月期2Q	375,024株	28年10月期	545,024株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年10月期2Q	1,389,175株	28年10月期2Q	—株

(注) 当社は、第2四半期の業績開示を、当事業年度より行っているため、平成28年10月期第2四半期の期中平均株式数(四半期累計)は記載しておりません。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策等により企業業績や雇用環境の改善傾向が続き、緩やかな回復基調となりました。しかし、米国新政権の政策や欧州の政治リスク、アジア新興国の経済動向等依然として先行きが不透明な状況が続いております。

国内の美容業界におきましては、消費税増税以降、消費者の節約志向の定着や少子高齢化に伴う人手不足により売上の減少が続いております。(出典：株式会社女性モード社、月刊「美容界」1月号)

このような状況のもと、当社グループは主要となる美容サロン向けICT事業において、成長戦略の一つであるスマートフォンアプリの活用により、美容ディーラーと美容サロン及びコンシューマーを繋ぐ「BtoBtoC」ビジネスの展開のための布石として、美容ディーラー向け販売管理システムのバージョンアップ及び各社毎のカスタマイズ販売を重点的に実施しました。しかしながら、各施策の効果をを得るまでには、当初予定より時間を要する進捗状況となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高1,250,758千円、営業利益38,617千円、経常利益20,170千円、親会社株主に帰属する四半期純利益18,655千円となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

① 美容サロン向けICT事業

美容サロン向けシステムの販売について、対象となる美容サロンが、Webサイト掲載料(広告費)の増加や割引クーポンの発行による売上減少の傾向により、システムの買替(リプレース)の先延ばし現象が起きており、販売台数が減少しております。一方、新規販売台数は、他社システムの入替を含め当初の見通し通り推移しております。また、美容ディーラー向けシステムの販売は、カスタマイズにより納品のサイトが延びているものの確実に売上を伸ばしております。さらに、新たな販売チャネルとして美容ディーラー及びユーザーとのアライアンスにより、下半期に向けた新規獲得を進めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は699,384千円、セグメント損失は5,733千円となりました。

② 中小企業向けビジネスサービス事業

中小企業向けビジネスサービス事業では、製造業向け人材派遣に続き地方自治体向け請負等の撤退により売上規模は縮小したものの、北関東地方を中心とした中小企業者への経理代行等の会計サービスは、既存顧客を中心に業務を行い、業績は安定的に推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は189,292千円、セグメント利益は11,794千円となりました。

③ 介護サービス事業

介護サービス事業では、介護付き有料老人ホームを3施設(栃木県佐野市、群馬県館林市、長野県小諸市)を運営しており、各施設への入居率の向上に取り組み、安定した収益を確保しております。第1四半期における入居者の想定以上の入院及び逝去により、一部施設の稼働率が一時的に低下したものの持ち直し、稼働率9割以上を確保しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は352,183千円、セグメント利益は24,936千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ179,003千円増加し、1,587,634千円となりました。これは主として、現金及び預金の増加207,577千円、売掛金の減少14,751千円、商品の減少11,228千円によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ12,817千円減少し、1,601,180千円となりました。これは主として、建物及び構築物の減価償却累計額の増加16,788千円によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ43,868千円減少し、410,670千円となりました。これは主として、未払費用の増加25,765千円、買掛金の減少18,702千円、未払法人税等の減少49,960千円によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ8,436千円減少し、910,153千円となりました。これは主として、長期借入金の減少37,596千円、退職給付に係る負債の増加15,468千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ218,490千円増加し、1,867,990千円となりました。これは主として、新規上場に伴う自己株式の処分による資本剰余金の増加133,960千円、自己株式の減少85,000千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月31日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,101,646	1,309,224
売掛金	221,155	206,403
商品	24,722	13,493
仕掛品	7,236	3,510
繰延税金資産	31,926	29,567
その他	22,283	25,737
貸倒引当金	△340	△302
流動資産合計	1,408,630	1,587,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,831,626	1,831,950
減価償却累計額	△904,268	△921,057
建物及び構築物(純額)	927,357	910,893
土地	342,737	342,737
その他	146,405	149,642
減価償却累計額	△123,304	△123,555
その他(純額)	23,101	26,086
有形固定資産合計	1,293,196	1,279,716
無形固定資産		
ソフトウェア	148,357	152,161
その他	29,996	13,366
無形固定資産合計	178,354	165,527
投資その他の資産		
繰延税金資産	88,554	102,194
その他	71,370	71,110
貸倒引当金	△17,476	△17,368
投資その他の資産合計	142,448	155,936
固定資産合計	1,613,998	1,601,180
資産合計	3,022,629	3,188,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,852	43,149
1年内返済予定の長期借入金	75,192	75,192
未払費用	181,500	207,266
未払法人税等	65,610	15,650
その他	70,382	69,412
流動負債合計	454,538	410,670
固定負債		
長期借入金	530,371	492,775
退職給付に係る負債	291,375	306,844
役員退職慰労引当金	70,306	74,822
その他	26,536	35,711
固定負債合計	918,590	910,153
負債合計	1,373,129	1,320,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
資本剰余金	143,198	277,158
利益剰余金	1,578,813	1,578,343
自己株式	△272,512	△187,512
株主資本合計	1,649,500	1,867,990
純資産合計	1,649,500	1,867,990
負債純資産合計	3,022,629	3,188,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
売上高	1,250,758
売上原価	759,857
売上総利益	490,901
販売費及び一般管理費	452,283
営業利益	38,617
営業外収益	
受取利息	5
施設利用料	996
助成金収入	618
その他	944
営業外収益合計	2,565
営業外費用	
支払利息	2,681
支払手数料	17,997
その他	333
営業外費用合計	21,013
経常利益	20,170
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	20,170
法人税、住民税及び事業税	12,795
法人税等調整額	△11,279
法人税等合計	1,515
四半期純利益	18,655
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,655

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
四半期純利益	18,655
四半期包括利益	18,655
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	18,655

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年12月26日を払込期日とする公募による自己株式140,000株の処分を行いました。また、平成29年1月20日を払込期日とするオーバーアロットメント方式による売り出しに伴う自己株式30,000株の処分を行ったことにより、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が133,960千円増加し、自己株式が85,000千円減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が277,158千円、自己株式が187,512千円となっております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	美容サロン向け ICT事業	中小企業向け ビジネス サービス事業	介護サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	699,384	188,838	352,183	1,240,406	10,352	1,250,758
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	453	—	453	1,680	2,133
計	699,384	189,292	352,183	1,240,859	12,032	1,252,892
セグメント利益又は損失(△)	△5,733	11,794	24,936	30,997	7,594	38,591

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	30,997
「その他」の区分の利益	7,594
セグメント間取引消去	26
四半期連結損益計算書の営業利益	38,617